

## SNSの使い方について

近年、短い文章を投稿したり、友人同士がメッセージや写真などを共有してコミュニケーションを取ったりする、いわゆるソーシャルネットワーキングサービス(SNS)という言葉が日常的に耳にします。

郡山一中では、携帯電話・スマートフォンを持っている人は、全校生の約55%に達しています。秋の夜長、部屋でスマホを使ってインターネット上で検索作業を行う時間も増えている人も多いのではないですか？

近年、「SNS誹謗中傷」という言葉を耳にします。誹謗中傷ということばはよく聞きますが、果たしてどんなことなのでしょう。

「SNS誹謗中傷(ひぼうちゅうしょう)」とは、SNS等のプラットフォームサービスの普及に伴い深刻な社会問題となったインターネット上の誹謗中傷のこと。根拠のない嫌がらせや悪口などを投稿することで、他人の名譽を傷つけることを指します。「誹謗」には「悪口を言うこと」という意味が、「中傷」には「根拠のないことを言って他人の社会的評価を下げる」という意味が含まれているようです。



近年、インターネット上での自由なコミュニケーションが可能になった一方、匿名のまま不特定多数に向けて特定個人の誹謗中傷を書き込んだり、特定個人のアカウントに対して一方的に誹謗中傷のメッセージ等を発信したりする事例が多く発生しています。(『炎上する』ということばも出ていますね。)度が過ぎた誹謗中傷行為を行った場合は、『名誉毀損罪(めいよきそんざい)』、『侮辱罪(ぶじょくざい)』、『信用毀損罪(しんようきそんざい)』、『業務妨害罪(ぎょうむぼうがいざい)』などの罪に問われることもあります。

「はるかぜちゃん」の愛称で知られている女優の春名風花さん。春名風花さんは、9歳の頃から10年間、SNSやネット掲示板などで誹謗中傷され続けてきました。きっかけは、2011年に東京都の青少年育成条例に対してSNSである発言をしたこと。子どもとは思えない鋭い発言で話題を呼びましたが、同時に誹謗中傷のメッセージも増えていきました。具体的には「殺す」「ナイフで滅多刺しにしてドラム缶にセメント詰めて殺したい」というような誹謗中傷が送られてきたとのこと。

その後も誹謗中傷は止まず、身内を侮辱するような投稿も相次ぎ、耐えられなくなった春名風花さんは、誹謗中傷してくる犯人を特定するため、2018年の10月にプロバイダに対して発信者に情報開示を求める控訴を起こします。その控訴を起こしたことで、一年後、東京地裁はプロバイダに対して発信者の氏名や住所などの開示を命じました。

SNS誹謗(ひぼう)中傷問題 | 世界のソーシャルグッドなアイデアマガジン より

<https://ideasforgood.jp/issue/online-slander/>

調べてみました……

○総務省によると……

インターネット上の人権侵害情報に関する人権侵害事件は、平成29年度に過去最高(平成13年の現行統計開始以降)の件数を更新し、令和元年度は過去2番目に多い件数を記録したそうです。

○インターネットプロバイダーのBIGLOBE(ビックローブ)によると……

20代の3割弱がSNSで他者から誹謗中傷をされたことがあると回答。

全体の7%が誹謗中傷をしたことがあると回答した。

SNSでの誹謗中傷に対する罰則を強化すべきかという問いには、「そう思う」(50.3%)が最も多く、続いて「ややそう思う」が34.8%、全体の8割強が罰則を強化すべきと考えているとのことでした。

↓



自由に自分の意見を表現できるようになってきた現代。逆に、SNSに書き込みをすることで、「自分の心を痛めたり」、「精神的に追い詰められたり」することが多くなるのが分かっているのであれば、人に意見する、心ないことばを思いのままに表現してしまう危うさを、その環境にいる人たちは、分かっているのでしょうか？ 法律で規制しないとダメなものを小さい子どもに持たせていいものでしょうか？ 非常に疑問になってきます。

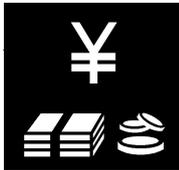
先生方は、ネット上で起こる問題について、対処できる範囲は限られています。十分注意してお使ください。



## 不要物の持ち込みについて

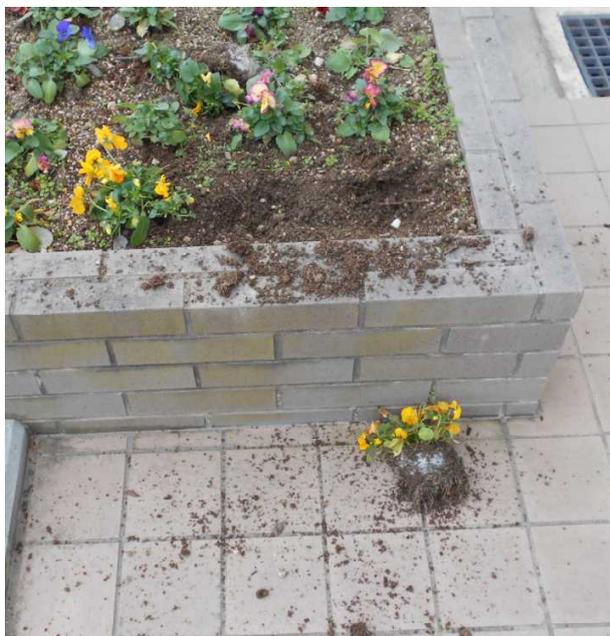
最近、本校で不要物の持ち込み事案がありました。なぜ持ってくるのか？

不要物を持ってくる理由として、「友だちの関心を引きたい」、「学校と家との区別がつかない」、「集団としての意識が欠けている」ことなどが考えられます。中には、不要物を持ってくることで自分の存在を周囲に示そうとする生徒もいるのではないかと想像してしまいます。



自由と自分勝手の違いを知り、「自由と規律」について考えてみると、「自由な生活するためには、自分の心を律すること」が大切であることに気づきます。そして自分の生活を見つめてほしいと思うのです。

学校は節度を守り、けじめのある生活をしようとする態度、さらに、よりよい集団になろうとする心、よりよい学校にしていこうとする心を育てるところです。それが、一人ひとりの生活の意欲を高め、友だちと楽しく、満足した学校生活を送ることにつながるのではないのでしょうか？ そう考えると、不要物を持ち込むという行動が減少してくるのではないかな？



## 花壇のパンジーが、 無残にも……(悲)

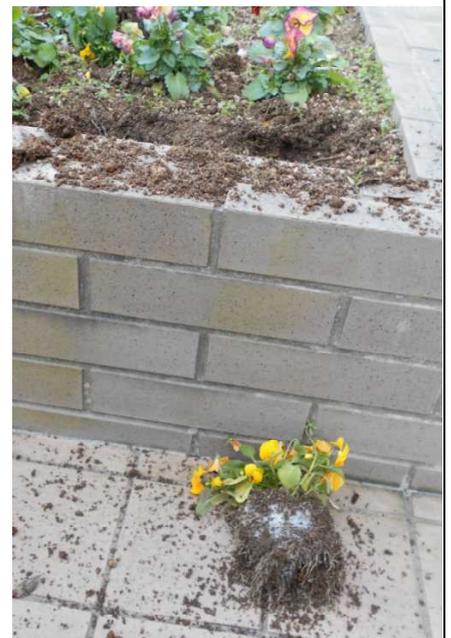
11月29日(月)昼休み、職員玄関前の花壇から「パンジー」が2つ、掘り起こされて、その場におかれていました。

これは、郡山一中生の面倒を見てくれているSSW(スクールソーシャルワーカー)の磯貝先生からのプレゼントでした。

パンジーは、11月から5月ぐらいまで咲く

花(一年草)なんだそうです。冬場の寒さや霜にも耐え忍んで、力強く咲いている花であり、この花を見て『強く生きなきゃ!』と元気をもらう人もいるかもしれません。

それが、今回、根こそぎ引き抜かれていたのです。「心ないいたずら」は、今日になっても申し出もなく、大変残念に思います。みんな心を痛めています。皆さんは、どんな感想を持ちましたか？



\* 次回は、冬休み前の大事なたよりになります。